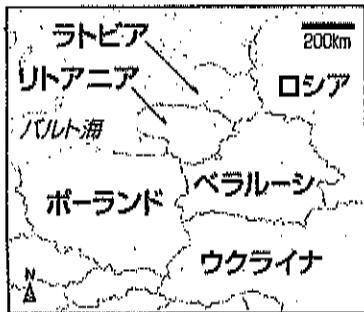


「ベラルーシに核戦術兵器」 7月保管施設米欧けん制



ロシアのプーチン大統領は25日放映の国営テレビのインタビューで、同盟国ベラルーシへの戦術核兵器=★NEWSの書類=配備を決めたと明らかにした。7月1日に保管施設が完成

する。ウクライナに劣化ウラン弾などを供与する米欧の軍事支援強化への対抗措置だと強調し、北大西洋条約機構(NATO)側

を強くけん制した。ロシアが他国領内に核兵器を配備すれば、1991年のソ連崩壊後に核兵器保有を放棄した旧ソ連諸国から引き渡しが受けた以来、初めてとみられる。

【4面に】関連記事
ベラルーシのルカシェンコ大統領と会見した。同国

はNATO加盟のポーランドも核兵器発射が可能だ

と説明。「米国は長い間、欧洲の同盟国に核兵器を配備してきた。われわれも同じことをする」と語った。

ただ、ベラルーシへの配備は譲渡ではないとして、「核兵器不拡散の国際義務に違反しない」と主張した。4月3日から戦術核を運用する要員の訓練を始める」とも明らかにした。

今月20、21日の中ロ首脳会談中に米欧がウクライナへの追加軍事支援を決定したのは、停戦を唱える中国側とロシアの協議妨害が目的だと主張。英国が供与を表明した劣化ウラン弾は

放射性の粉じんを発生させる最も危険な武器だ」と訴え、核開発の兵器使用を

搭載可能な仕様に改造され、供与を終えた強道ミサイルも核兵器発射が可能だ

と説明。「米国は長い間、欧洲の同盟国に核兵器を配備してきた。われわれも同じことをする」と語った。ただ、ベラルーシへの配備は譲渡ではないとして、「核兵器不拡散の国際義務に違反しない」と主張した。4月3日から戦術核を運用する要員の訓練を始める」とも明らかにした。

今月20、21日の中ロ首脳会談中に米欧がウクライナへの追加軍事支援を決定したのは、停戦を唱える中国側とロシアの協議妨害が目的だと主張。英国が供与を表明した劣化ウラン弾は放射性の粉じんを発生させる最も危険な武器だ」と訴え、核開発の兵器使用を

進めているのは米欧側だとして戦術核の国外配備を正当化した。

ロシアとベラルーシは連

合国家創設条約を結び経済や軍事面で国家機能の統合を進めてくる。ベラルーシは侵攻に直接参加していないが、ロシア軍の出撃拠点となつた。